

発売中  
260円

コロナ危機をのりこえ  
新しい日本と世界を  
(党創立98周年記念講演・志位和夫)

# 請要旧復の街温泉瀬天ヶ

## 早期に玖珠川の防災・減災対策を

日本共産党日田市議団は24日、7月豪雨災害で被害の大きかった天ヶ瀬温泉の旅館経営者らと国土交通省九州地方整備局(福岡市)を訪ね、玖珠川の復旧・整備を要請しました。

狭い河川の拡幅、堤防の設置など、玖珠川の防災・減災対策は、住民の生活と生業(なりわい)再建に欠かせません。川沿いにある



▲国側(左端)に要請する日隈市議(前列左から2人目)らと(右へ)阿部氏ら(24日、福岡市)



▲県側(手前)に要請する(左から)山下県書記長、大谷、日隈両市議、堤、猿渡両県議(21日、県庁)

多数の源泉が土砂に埋まり、今も旅館・ホテルのほとんどが再開できないという天ヶ瀬温泉から、阿部信明・旅館組合長らが参加して被災地の声を届けました。  
阿部組合長は「今は生業のめどさえ立たない宙ぶらりんの状況だ。一日も早い河川復旧を」と訴え。日隈市議は「市と住民とで源泉の確保・保全と防災・減災をめざして、河川を拡幅するなど抜本的な復旧の話し合いが始まった。ぜひ国が支援してほしい」と要請しました。

整備局担当者が「玖珠川を管理する県の要請があれば支援してゆく」と答えたのに対して、田村貴昭衆院議員は「県の要請を待つのではなく地元の声をしつかり受け止め、国としてインシニアチブを發揮した最大の支援を」と改めて強く求めました。堤栄三、猿渡久子の両県議も同行しました。

# 市長に地元の声伝える

日隈氏ら5人の市議

## 早く復旧方針を示して

日隈市議ら5人は17日、天ヶ瀬温泉の阿部旅館組合長ら9人と復興に向けて懇談。その内容を20日、原田市長に伝え、「早く復旧方針を示してほしい」と要望しました。

日隈、飯田、安達、岩見、居川の5人の市議は20日、原田市長と被害の大きかった天ヶ瀬温泉街の復旧方法について懇談しました。

日隈市議ら5人は、住民から「狭い河川の拡幅には移転もやむを得ない」「安心して暮らすためには堤防や道路のかさ上げが必要」「温泉の集中管理で天ヶ瀬温泉を守ってほしい」などの意見が出たことを原田市長に伝えました。市長は「河川改修は県と協議している。発電所取水口の固定堰は、可動化する必要がある」と答えました。



▲市長(手前左端)と懇談する(右へ)居川、安達(対面左から)飯田、日隈、岩見(20日、市役所)

## 9月議会 8月31日から始まる

一般質問は9月8日、9日、10日の3日間です。

日隈知重市議は、天ヶ瀬温泉街の復旧復興、住民の避難と支援、コロナ禍の中小企業への家賃支援の期間延長について質問します。

大谷敏彰市議は、国民健康保険の新型コロナ感染傷病手当の対象拡大、半壊まで適用されるようになった住宅再建支援制度、南友田の徳瀬橋の架け替え工事、通所介護支援の補てんについて質問します。

市議会は、新型コロナ感染防止のため新たに議場に質問席を設けるなどの対策をとって開催します。